

平成29年10月27日

保護者様

岡山市立灘崎小学校
校長 長瀬 尚樹

北朝鮮によるミサイル発射時におけるJアラートによる 緊急情報が発信された場合の対応について

平素から、本校教育の推進に温かいご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。さて、先般、北朝鮮による弾道ミサイルの発射があり、広範囲で「全国瞬時警報システム（Jアラート）」による緊急情報が発信されました。そこで、今後岡山県を含むエリアにJアラートによる緊急情報が発信された場合、岡山市教育委員会の指針に基づき、子どもたちの安全を確保するために、原則、下記のとおり対応しますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、学校では、裏面資料に沿って安全指導を行います。つきましては、ご家庭でも、当該資料を参考に、緊急時の対応について家族全員で話し合う機会をお持ちください。

記

1 臨時休業の取扱いについて

以下の①～③の場合、臨時休業となります。不要不急の外出を控えて自宅待機します。

- ①登校前に岡山県を含むエリアにJアラートによる緊急情報が発信された後、安全が確認できないまま終業時刻を過ぎた場合
- ②ミサイル（またはその一部）が岡山市内に落下した場合
- ③我が国に甚大な被害が発生し、岡山市教育委員会が臨時休業を判断した場合

2 登校前にJアラートが発信された場合

- (1) 登校を控え、自宅等、建物の中で待機して安全を確保します。
- (2) その後の登校・休校の判断は、安全情報等を確認の上、ウサギメール等により学校から連絡します。
- (3) 登校の判断が出た場合、各登校班で誘い合わせて、可能な限り集団で登校します。

3 登下校中にJアラートが発信された場合

- (1) 爆風や落下物等の被害が予想されるので、建物の中に避難します。近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、ランドセル等で頭部を守ります。
- (2) 見守り隊など地域の方の指示にしたがったり、子ども110番の家に助けを求めたりして、登校班や各自で安全を確保します。

4 学校にいるときにJアラートが発信された場合

十分な安全が確認できた後、教育活動を再開します。また、原則、下校は集団下校とし、教職員が要所に立って下校指導を行います。なお、引き渡し下校等の対応が必要な場合は、ウサギメール等でお知らせしますのでご注意ください。

ただし、ウサギメール等が機能しない場合が起きうることをご了承ください。

5 その他

- (1) 登下校中や休日での外遊び中等、戸外にいる場合、子どもたちは情報を知り得る手段がありません。Jアラート等で情報が入ったときには、近くの子どもに避難するよう、お声かけください。また、建物近くに誘導していただくことが可能ならば、ご協力をお願いします。
- (2) Jアラートによる緊急情報の発信があった場合、緊急時の連絡のため、学校の電話回線を空けておく必要があります。学校への問い合わせは、できる限り控えていただきますようお願いいたします。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
[@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)



Jアラート (例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。